

2017年3月期 第2四半期決算説明会

挑戦と創造

2016年11月24日

アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

1. 2017年3月期第2四半期決算
2. 2017年3月期通期計画
3. 各セグメントの現状および方針
 - 3-1-1 化成品セグメント
 - 3-1-2 機能材料事業
 - 3-2 建装材セグメント
 - 3-3 住器建材セグメント
4. 海外事業の現状および方針
5. 中期経営計画の進捗

1. 第2四半期連結業績の概要

[単位:百万円]

	前上半期 (2015/9期) 実績		当上半期 (2016/9期) 計画		当上半期 (2016/9期) 実績		対前上半期	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	増加金額	伸率
売上高	69,691		74,500		72,754		3,063	4.4%
営業利益	7,212	10.3%	7,750	10.4%	8,664	11.9%	1,451	20.1%
経常利益	7,638	11.0%	7,850	10.5%	8,749	12.0%	1,111	14.5%
中間純利益※	4,608	6.6%	4,900	6.6%	5,242	7.2%	633	13.7%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

[単位:円]

一株当たり 中間純利益	70.6	—	75.0	—	80.3	—	9.7	—
----------------	------	---	------	---	------	---	-----	---

伸び率

売上高	+4.4%	7期連続増収
営業利益	+20.1%	7期連続増益
経常利益	+14.5%	7期連続増益
中間純利益※	+13.7%	2期ぶりの増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

売上 : 4期連続で過去最高を更新

営業利益・経常利益 : 5期連続で過去最高を更新

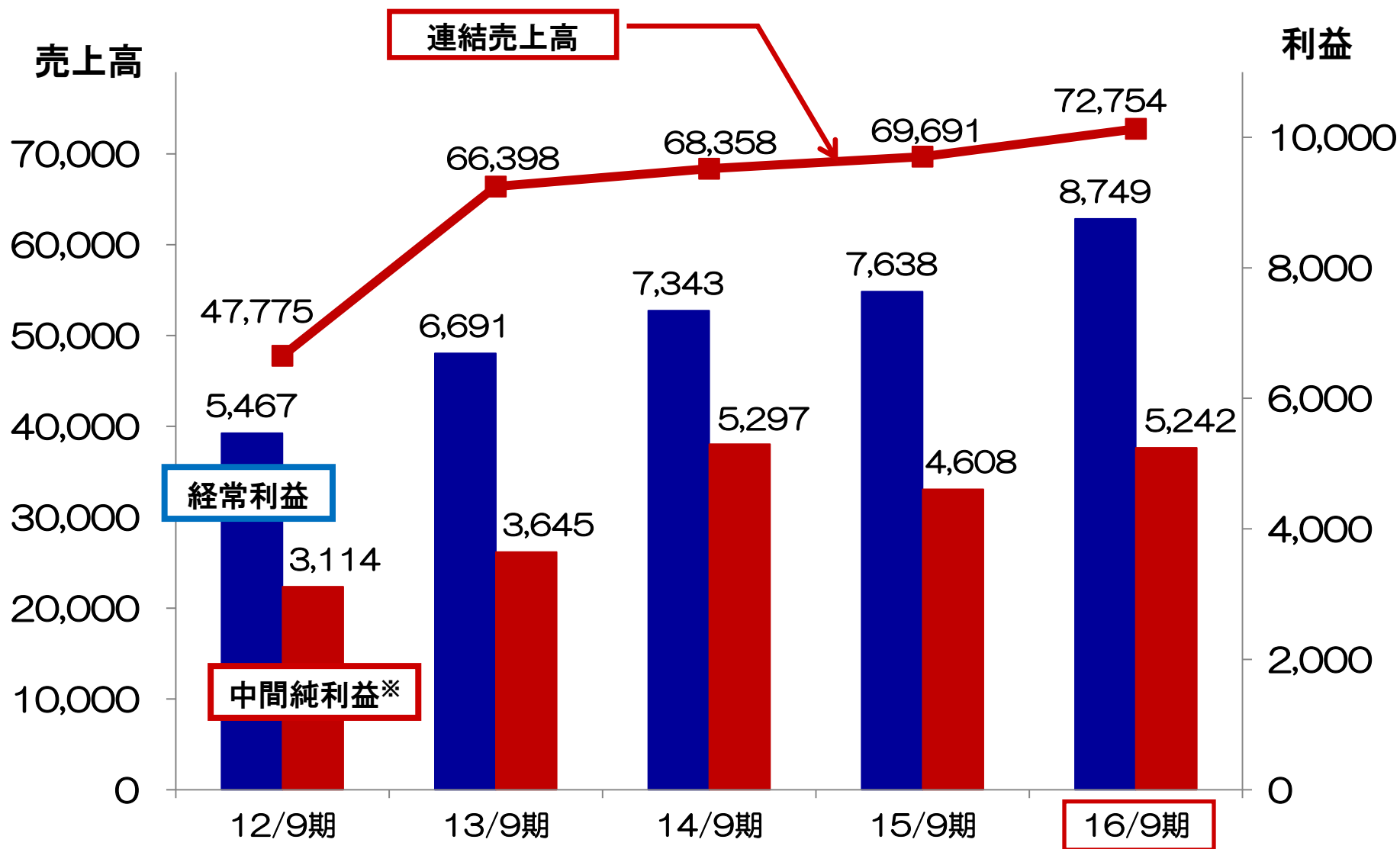
■ **国内事業**: 住宅向けは好調

医療・福祉は着工面積減少により苦戦

■ **海外事業**: アイカ・アジア・パシフィック(AAP)を中心に好調も、円高による為替換算により減収増益

1. 第2四半期連結業績の推移

[単位:百万円]

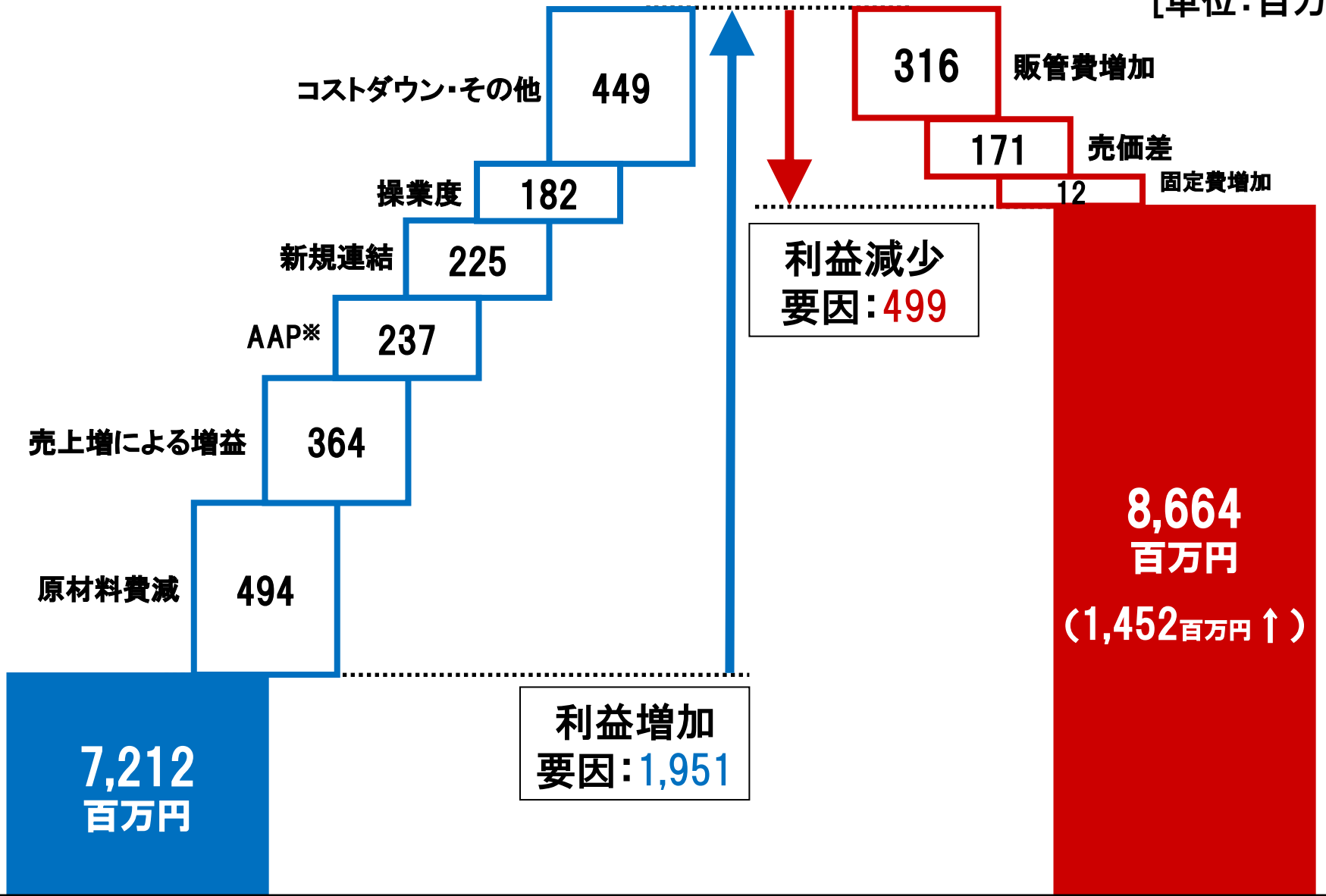


※親会社株主に帰属する四半期純利益

1. 営業利益増減分析 <15/9期実績 vs. 16/9期実績>



[単位:百万円]



※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

1. 主要項目の状況

[単位:億円]

	2014/9期	2015/9期	2016/9期
	連結	連結	連結
設備投資額	13.9	12.1	15.9
減価償却費	14.6	15.8	17.0
研究開発費	11.1	11.9	12.8
借入金残高	34.4	29.8	15.9

[単位:人]

期末人員			
国内	1,272	1,360	1,554
海外	2,187	2,209	2,231
合計	3,459	3,569	3,785

1. 第2四半期セグメント別実績(前年・計画比)

[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2015/9期 実績	2016/9期 計画	2016/9期 実績	2015/9期 実績	2016/9期 計画	2016/9期 実績	
化成品	38,325	39,300	37,818	2,515	2,632	3,076	金額
				6.6%	6.7%	8.1%	利益率
建装材	16,653	20,370	19,346	3,186	3,523	3,894	金額
				19.1%	17.3%	20.1%	利益率
住器建材	17,238	17,350	18,015	2,505	2,614	2,882	金額
				14.5%	15.1%	16.0%	利益率
(消去)	▲ 2,526	▲ 2,520	▲ 2,425	▲ 994	▲ 1,017	▲ 1,189	
合計	69,691	74,500	72,754	7,212	7,750	8,664	金額
				10.3%	10.4%	11.9%	利益率

1. 2017年3月期第2四半期決算

2. 2017年3月期通期計画

3. 各セグメントの現状および方針

3-1-1 化成品セグメント

3-1-2 機能材料事業

3-2 建装材セグメント

3-3 住器建材セグメント

4. 海外事業の現状および方針

5. 中期経営計画の進捗

2. 2017年3月期 通期業績計画(連結)



[単位:百万円]

	2016/3期 実績		2017/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増加金額
売上高	150,061		152,000		1.3%	1,939
営業利益	16,184	10.8%	17,500	11.5%	8.1%	1,316
経常利益	16,352	10.9%	17,500	11.5%	7.0%	1,148
親会社株主に帰属する当期純利益	9,962	6.6%	10,500	6.9%	5.4%	538
ROE	9.4%	-	9.5%	-	-	-
一株当たり純利益	152.6円	-	160.8円	-	-	-
一株当たり株主資本	1,654.1円	-	1,704.0円	-	-	-
設備投資額	29.3億円	-	45.0億円	-	-	-
減価償却費	34.9億円	-	38.0億円	-	-	-
研究開発費	26.0億円	-	27.0億円	-	-	-

2. 2017年3月期 セグメント別業績計画(連結)



[単位:百万円]

	売上高			営業利益		
	2016/3期 実績	2017/3期 計画	差異	2016/3期 実績	2017/3期 計画	差異
化成品	79,927	77,784	▲2,143	5,417 6.8%	5,950 7.6%	533 0.8%
建装材	38,838	41,936	3,098	6,843 17.6%	7,625 18.2%	782 0.6%
住器建材	36,339	37,200	861	5,995 16.5%	6,375 17.1%	380 0.6%
(消去)	▲5,044	▲4,920	124	▲2,072	▲2,450	▲378
合計	150,061	152,000	1,939	16,184 10.8%	17,500 11.5%	1,316 0.7%

2. アイカ・アジア・パシフィック(AAP)の実績・計画 **AICA**

[単位:億円]

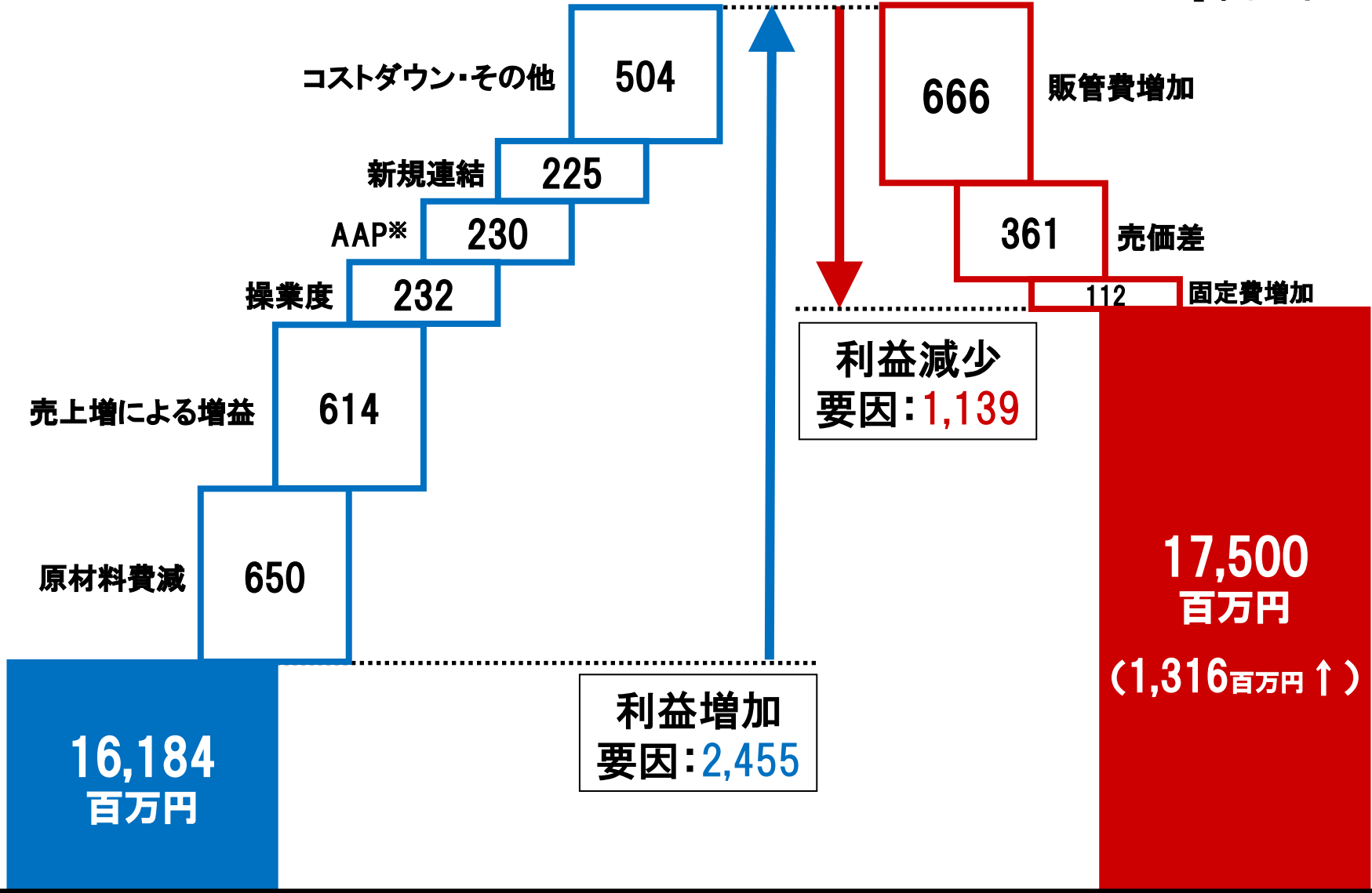
	2015/12期 (実績)		2016/12期 (計画)			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
売上高	189.8	384.0	173.1	▲8.8%	348.9	▲9.1%
営業利益	18.6	39.3	20.4	9.7%	40.2	2.3%
のれん	7.3	14.4	6.6	—	13.0	—
のれん償却 控除後	11.3	24.9	13.7	21.8%	27.2	9.5%

<注> のれんは5年償却。2017/12期が最終年度。

2. 営業利益増減分析 <16/3期実績 vs. 17/3期計画>



[単位: 百万円]



※AAP: アイカ・アジア・パシフィック

1. 2017年3月期第2四半期決算
2. 2017年3月期通期計画
- 3. 各セグメントの現状および方針**
 - 3-1-1 化成品セグメント**
 - 3-1-2 機能材料事業**
 - 3-2 建装材セグメント**
 - 3-3 住器建材セグメント**
4. 海外事業の現状および方針
5. 中期経営計画の進捗

化成品 商品群別売上計画(連結)

[単位:億円]

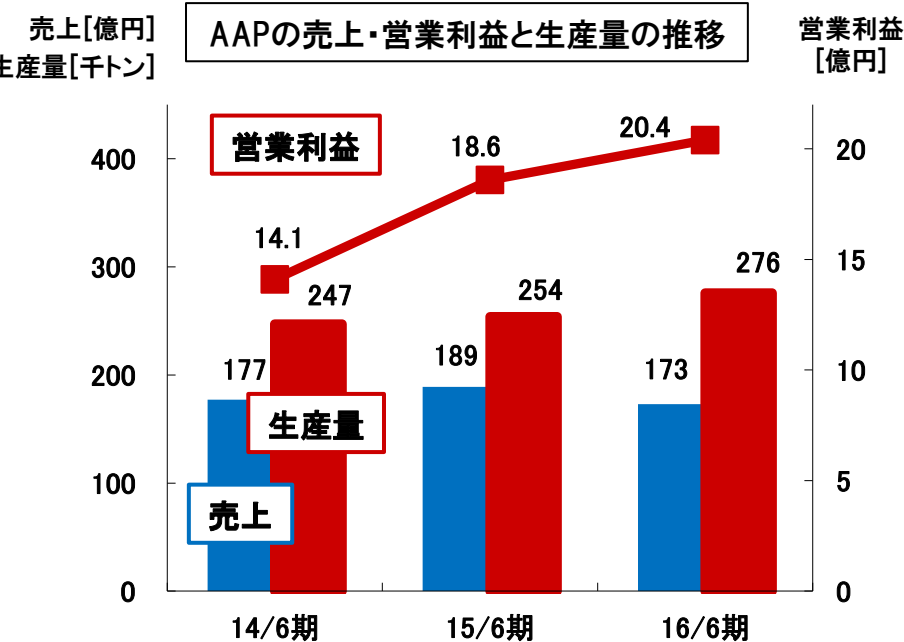
	2016/3期(実績)		2017/3期			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
接着剤	257.4	539.8	250.8	▲2.6%	512.3	▲5.1%
建設樹脂	56.6	120.0	57.3	1.3%	121.1	0.9%
機能材料	26.3	53.1	28.1	6.9%	60.2	13.4%
その他	29.8	59.7	30.2	1.3%	60.2	0.9%
合計	370.2	772.7	366.5	▲1.0%	754.0	▲2.4%

3-1-1 化成品セグメント 実績（接着剤）

海外

■ 好調

- ・アイカ・アジア・パシフィック(AAP)
為替換算と売価低下により減収も、
数量増と(+9%)と原料安により大幅増益



国内

■ 好調

- ・新築住宅着工増 ➡ 国内合板需要増
- ・アイカSDKフェノールシナジー開始
- ・施工用・木工家具用も増産



木工家具用
新商品「NVN2」

売上:250億円 (前年比97.4%)

国内・海外(特にAAP) 共に好調 原料安による売価安や為替換算で目減り

ジョリパット （塗り壁材）



■ 横ばい
リフォーム市場 好調
新築住宅向け 苦戦

ジョリエース （塗床材）



■ 好調
改修向け 好調
HACCP対応工場向け 好調

ジョリシール ダイナミックレジン （補修・補強材）

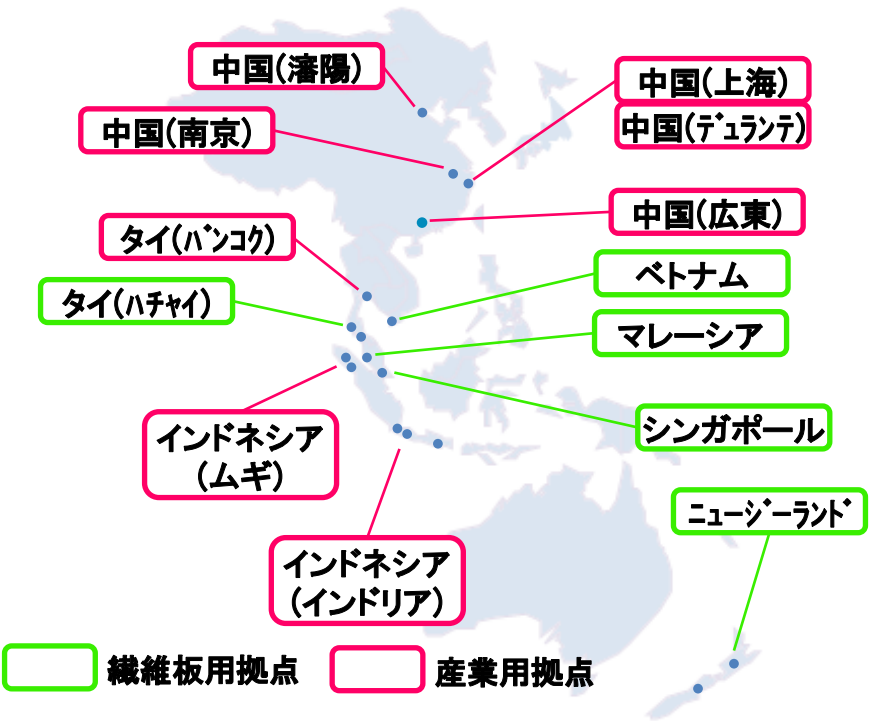


■ 低迷
公共工事発注減により苦戦

売上:57億円（前年比101.3%）
改修向け、工場市場が堅調に推移

海外

■ アイカ・アジア・パシフィック(AAP)
繊維板用、産業用樹脂の需要取込み



国内

- 合板用 : アイカSDKフェノールシナジーの追求
- 家具用 : 新商品NVN2の販売強化
- 施工用 : 壁材とのセット販売強化



通期売上計画:512億円（前年比94.9%）
海外:AAP中心に旺盛なアジア需要取込み 国内:グループ間シナジー追求

ジョリパット (塗り壁材)



- 改修向け材料の拡販
- 施工店会の拡充

ジョリエース (塗床材)



- 食品工場用防カビタイプ
- 高耐久塗り床材拡販

ジョリシール ダイナミックレジン (補修・補強材)



- 民間物件の獲得強化
- タイルはく落防止用トップコート
マンションディベロッパー提案

通期売上計画:121億円 (前年比100.9%)
伸張市場である改修・補修・補強市場へ注力

機能材料 商品群別売上計画(連結)

[単位:億円]

	2016/3期(実績)		2017/3期			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
太陽電池用および 自動車用樹脂	7.8	14.2	8.5	9.0%	16.9	19.0%
電子材料	5.3	11.7	5.2	▲2.0%	12.7	8.5%
有機微粒子	13.1	27.2	14.4	9.9%	30.6	12.5%
合 計	26.3	53.1	28.1	6.9%	60.2	13.4%

**太陽電池および
自動車用樹脂
(ホットメルト等)**



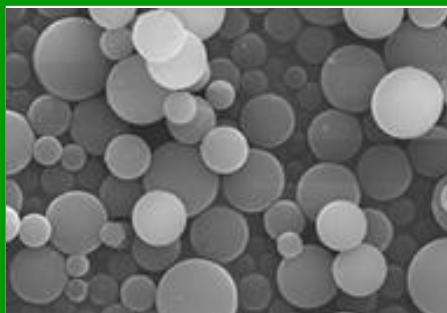
■ **好調**
スマートフォン向けシール材 好調
太陽光向けホットメルト 好調
ファブリック用難燃バックキング材 好調

**電子材料
(フィルム・UV樹脂等)**



■ **低迷**
スマートフォン向け低迷
高機能フィルム 量産採用遅延

**有機微粒子
(化粧品・
LED用途等)**



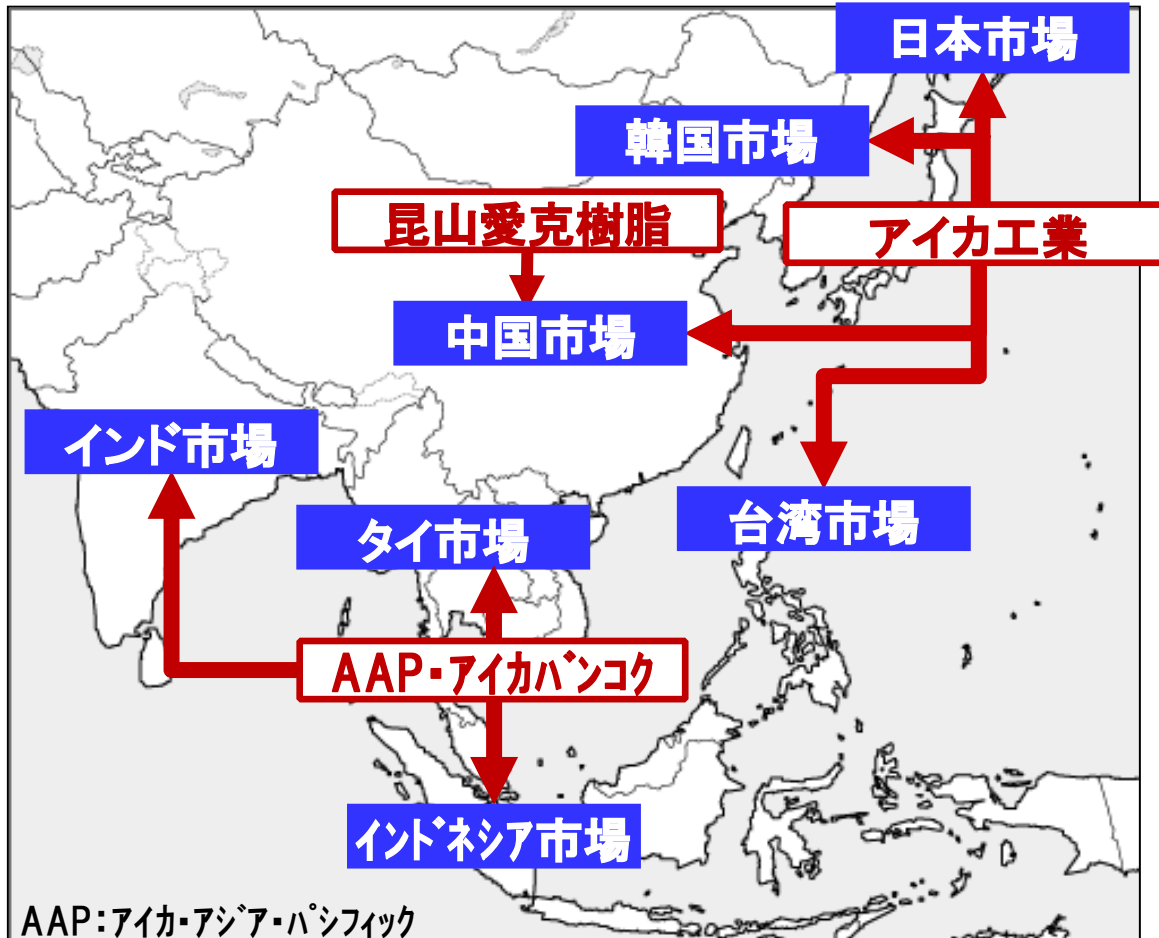
■ **好調**
インバウンド関連化粧品向け 好調
粉体塗料用の耐衝撃剤 好調

売上:28億円 (前年比106.9%)

太陽電池および自動車用シール材、有機微粒子が好調

3-1-2 機能材料事業 重点方策

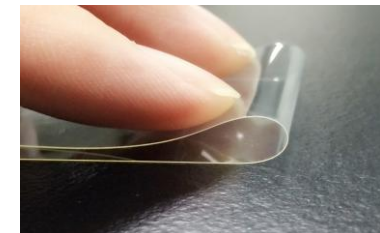
グローバル展開



有機EL向けUV樹脂 新技術対応



フレキシブル有機EL



高屈曲 コート材／封止材



水蒸気バリア 粘着材／封止材

通期売上計画:60億円 (前年比113.4%)

アジア市場における販売強化

建装材 商品群別売上計画(連結)

[単位:億円]

	2016/3期 (実績)		2017/3期			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
一般化粧板	75.8	159.2	73.7	▲2.9%	156.7	▲1.6%
化粧ボード	70.1	149.1	66.0	▲5.9%	147.0	▲1.4%
不燃ボード	4.4	48.1	37.3	747.0%	82.2	70.9%
その他	3.8	8.0	3.7	▲2.5%	7.9	▲1.0%
合計	154.2	364.5	180.8	17.2%	394.0	8.1%

3-2 建装材セグメント 実績

教育施設



- 好調
- ・保育施設新設増加
- ・小中学校改修復調

商業施設



- 好調
- ・コンビニ好調

医療・介護施設



- 低迷
- ・大型案件 減少

アイカテック建材



- シナジー創出
- ・化粧ケイカル板「ルナライト・カラー」
- ・調湿建材「モイス」
- アイカ取扱開始

売上:180億円 (前年比117.2%)

新規連結アイカテック建材の寄与

既存売上は低迷

3-2 建装材セグメント 重点方策

■ アイカテック建材シナジー商品拡販

- ・化粧ケイカル板
「ルナライト・カラー」
- ・調湿建材
「モイス」

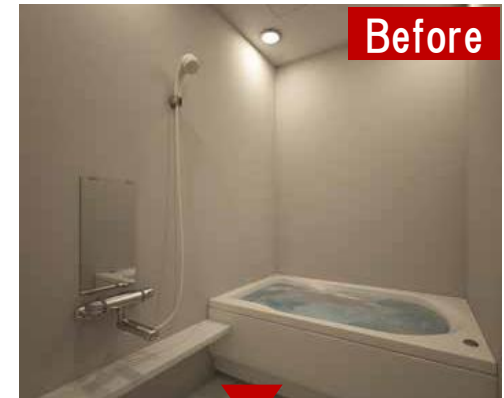


■ トイレ向け商品拡充

- キッズ向け
- トイレブース等



■ 浴室改修パネル発売



通期売上計画:394億円 (前年比108.1%)

アイカテック建材シナジー商品拡販 改修市場へ注力

住器建材 商品群別売上計画(連結)

[単位:億円]

	2016/3期 (実績)		2017/3期			
	上半期	通期	上半期実績	伸率	通期計画	伸率
セラール	80.7	172.5	86.5	7.1%	178.5	3.5%
イソテリア建材	17.4	35.3	16.8	▲3.7%	34.1	▲3.6%
ドア	10.5	20.4	8.9	▲15.6%	17.4	▲14.9%
カウンター	16.0	34.0	17.7	10.8%	36.5	7.4%
ホ°ストフォーム	47.6	101.0	50.2	5.5%	105.4	4.4%
合計	172.3	363.4	180.1	4.5%	372.0	2.4%

セラール



■ **好調**
リフォーム市場 増加
住宅キッチンパネル用途 好調

ドア・インテリア建材



■ **低迷**
住宅、医療・介護施設向け 苦戦

カウンター ポストフォーム



■ **好調**
対面カウンター 好調
集合住宅向け 堅調

売上:180億円 (前年比104.5%)

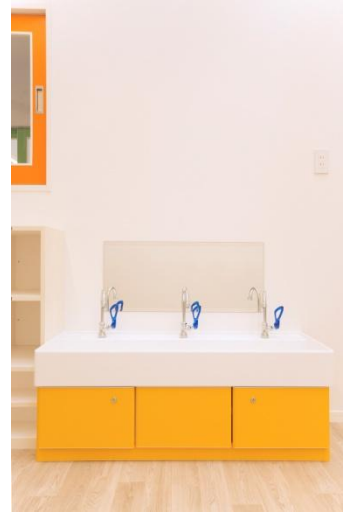
新築住宅着工増の影響を受け、セラールや対面カウンター好調

非住宅市場

- ・保育園・幼稚園
- ・医療・介護施設

ターゲットに合わせた商品戦略へ

車椅子対応洗面



キッズ洗面

住宅市場

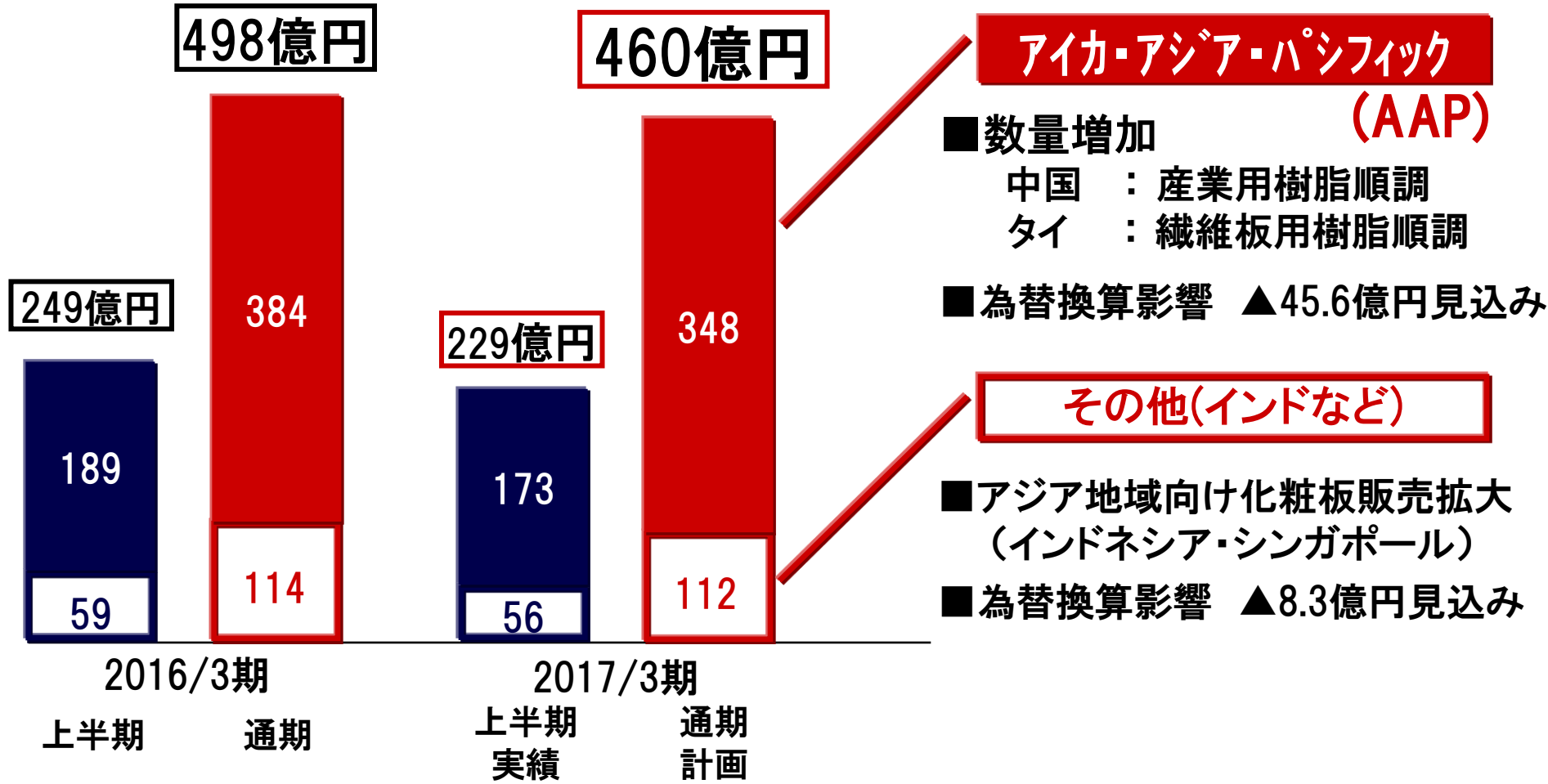
- ・フィオレストーンカウンター
- ・女性目線パッケージ商品



通期売上計画:372億円 (前年比102.4%)
非住宅市場へ注力 住宅市場依存からの脱却

1. 2017年3月期第2四半期決算
2. 2017年3月期通期計画
3. 各セグメントの現状および方針
 - 3-1-1 化成品セグメント
 - 3-1-2 機能材料事業
 - 3-2 建装材セグメント
 - 3-3 住器建材セグメント
4. 海外事業の現状および方針
5. 中期経営計画の進捗

4. 海外市場 実績



アイカ・アジア・パシフィック (AAP)

- 数量増加
 - 中国 : 産業用樹脂順調
 - タイ : 繊維板用樹脂順調
- 為替換算影響 ▲45.6億円見込み

その他(インドなど)

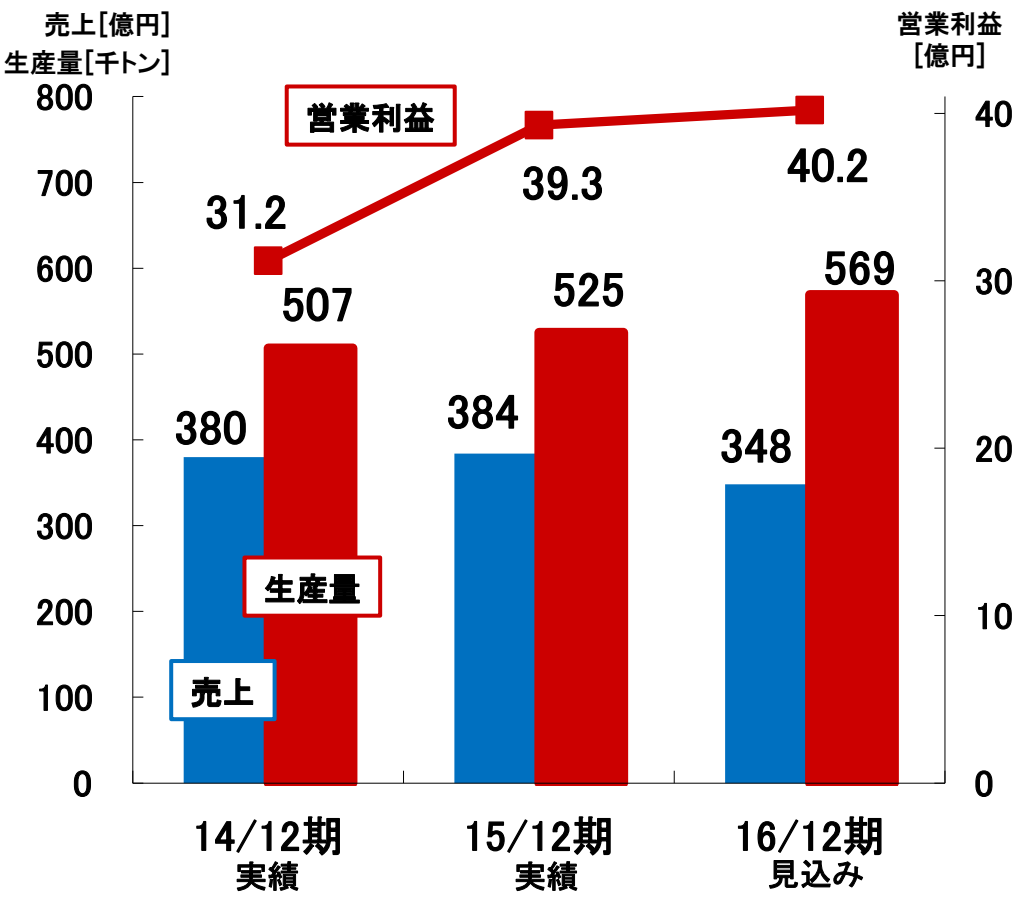
- アジア地域向け化粧板販売拡大 (インドネシア・シンガポール)
- 為替換算影響 ▲8.3億円見込み

売上:229億円 (前年比91.9%)

海外売上比率:31.5%(前年比▲4.3ポイント)

4. 海外市場（イカ・アジア・パシフィック(AAP)）重点方策 **AICA**

売上・営業利益・生産量の推移



- **既存事業の維持拡大**
 大口ユーザーの旺盛な需要に安定的に供給
- **新規事業への挑戦**
 新規事業に対応するための新設備立ち上げ
- **円高による為替換算影響が吸収しきれず、減収増益見込み**
 為替影響除いた場合の計画
 売上 : 394億円 (+2.6%)
 営業利益 : 43.2億円 (+9.9%)

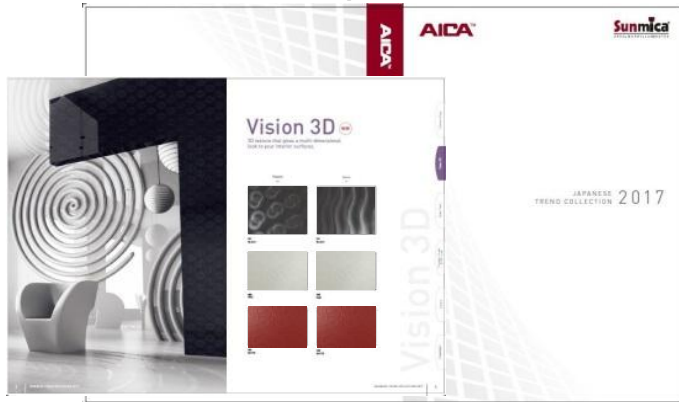
通期売上計画: 348億円 (前年比90.9%)
既存事業維持拡大 ・ 新規事業への挑戦 ・ グループ間シナジー追求

4. 海外市場（メラミン化粧板の販売強化策）

インド

■ 販促ツール・新商品の充実

国内特選カタログ/Japanese Trend Collection



■ 新規含浸ライン増設

ボイラー更新(生産能力・スピードUP)



東アジア・東南アジア

アイカブランドの育成

- 代理店によるショールーム開設
(台湾・タイ・ベトナム)
- 国内営業部門と連携し日本クライアントの海外進出・生産移管へ対応(中国)
- 展示会出展(ミャンマー)
- 建築雑誌等に広告掲載し、アイカブランド告知(ミャンマー)
- セラール施工ビデオを作成し、設計で説明会実施(シンガポール)

アジア地域における販売強化

生産能力の向上・販売網の整備・ブランドの強化

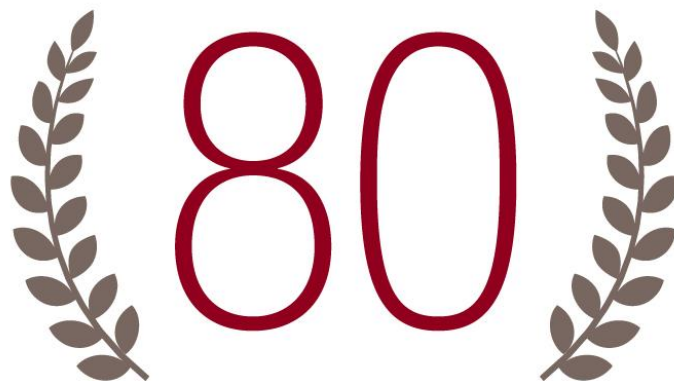
1. 2017年3月期第2四半期決算
2. 2017年3月期通期計画
3. 各セグメントの現状および方針
 - 3-1-1 化成品セグメント
 - 3-1-2 機能材料事業
 - 3-2 建装材セグメント
 - 3-3 住器建材セグメント
4. 海外事業の現状および方針
5. **中期経営計画の進捗**

5. 中期経営計画(2014/3-2017/3)の進捗

NEXT JUMP 1500

今期を最終年度とする4カ年計画

項目	14/3期 (実績)	15/3期 (実績)	16/3期 (実績)	17/3期 (予想)	中期経営計画
売上高	1,410億円	1,438億円	1,500億円	1,520億円	1,500億円
経常利益	147億円	158億円	163億円	175億円	170億円
ROE	9.5%	10.4%	9.4%	9.5%	9.5%
海外売上比率	29.2%	33.3%	33.2%	30.3%	30.0%以上



AICA 1936

Eighty Years Young

アイカ工業株式会社